

「彩の会」平成 29 年度春の例会報告

桜の開花便りが聞かれ始めた 4 月 4 日(火)、写真の会「彩の会」の撮影会を兼ねた春の例会が、5 名の参加者を得て三重県伊賀市の上野公園一帯で開催されました。

伊賀上野城は、城造りの名手といわれた藤堂高虎により拡張・改修されましたが、直後の暴風により倒壊後、昭和 10 年になってから天守閣が再建されました。また、日本一、二と言われる高さ 30m の当時の石垣が残っています。公園内には、俳聖松尾芭蕉が蓑笠を被って奥の細道を歩いている姿を現したと言われる俳聖殿や芭蕉翁記念館もあります。そして、最近特に外国人などに人気のある伊賀流忍者博物館（通称忍者屋敷）も設置されています。

午前 9 時に名古屋の金山に集合し、今回は初めて会員の運転する自家用車で伊賀上野まで足を延ばしました。桜の開花を予測して開催日を設定しましたが、今年は春の訪れが少し遅く、残念ながら当地の桜はまだ開花直前の状態でした。それでも会員の皆さんは、絶好の春の好天のもと青空に聳え立つ天守閣や有名な石垣などを取り入れて熱心にシャッターを切ってみえました。

お昼には予約をしてあった木の芽田楽のお店に会場を移し、昼食をしながら例会を開催しました。各自の近況報告などの後、持ち寄った作品を批評しあいました。生き生きとした地元のお祭りのスナップ写真や山の写真などを鑑賞しました。ご参加の会員の皆さんお元気で活躍の様子でした。その後午後 1 時半、秋の例会での再開を約束して帰途に着きました。

【参加者】（敬称略）高澤茂樹、佐藤壽洲、富田主計、鈴木慎吾、都築春彦

この写真の会も最近新入会員がほとんどなく、会発足当時の会員の方々がだんだんご引退されるようになり、参加人数が減少傾向にあるのが悩みの種です。新しい会員の方々の入会を切望します。特に若手の方々の入会を期待しております。入会ご希望の方は、幹事までご連絡ください。

（鈴木 記）





